

2019年7月1日
年報

NO.27



わ 和 & 輪 わ

編集発行 (公財) 松戸市国際交流協会
〒271-0073 松戸市小根本 7-8
京葉ガスF松戸第2ビル5階
☎047-366-7310(直通) FAX 047-308-6789
URL: <https://www.miea.or.jp>
E-mail office@miea.or.jp

せつりつ しゅうねん むか MIEA設立30周年を迎えて

めいよこもん いいぬま まこと
名誉顧問 飯沼 誠



公益財団法人松戸市国際交流協会 (MIEA) は、皆様の暖かいご支援ご協力により、本年 (2019年・令和元年) で創立30周年を迎えることができました。心より感謝を申し上げます。MIEAの30年間を振り返ると、国際社会が実にめまぐるしく変動して、異文化理解と国際交流の大切さを痛感して参りました。国際交流で「和と輪」を広げるためには、熱い情熱と根気、そして並々ならぬ努力と誠意が必要です。

さいわい、松戸市はオーストラリア・ホワイトホース市 (旧ボックス・ヒル市) と姉妹都市提携をして、今でも深い交流を続けています。2021年5月には、姉妹都市交流50周年を記念して、ホワイトホース市より、市長をはじめ市民の友好親善団が松戸市を訪れます。両市民が自国の歴史や伝統文化を大切に異文化理解に努め、友好親善の「和と輪」を広げることは実に貴いことです。この連綿と続く姉妹都市交流は、日豪関係に於いても誇るべき草の根国際交流であり、何者にも代えられない宝物であると言えます。この尊い姉妹都市交流に携わってこられた歴代の両市長をはじめ、議長そして市民のまごころ溢れた対応に心から敬意と感謝を表します。

今や、MIEAは、両市の姉妹都市交流を中心に、世界約100ヶ国の人々との異文化理解に努め国際交流の輪を広げています。いよいよ今年はラグビーワールドカップ日本大会が開催され、2020年には東京オリンピック・パラリンピック、そして2025年には大阪・関西万国博覧会開催等々で、世界中から多くの人々が日本を訪れます。今こそ、私達はこれまでの経験を活かして、「令和元年」にふさわしく「美しい調和」を日本のみならず、世界中に広げられるように国際交流を楽しみましょう。

CONTENTS

MIEA設立30周年を迎えて……	P1
理事長あいさつ ……………	P2
会員の状況	
にゅうかいあんない	
入会案内	
しゅうしよさん	
収支予算 ……………	P3
やくいん じむきょく しょうかい	
役員・事務局の紹介	
じぎょうしょうかい	
事業紹介 ……………	P4・P5
かいいん こえ	
会員の声 ……………	P6・P7
せいしやうねんしまいとしはけんほうこく	
青少年姉妹都市派遣報告 ……………	P8



理事長あいさつ

理事長 伊藤 誠



2019年は5月1日に元号が「平成」から「令和」に変わる記念の年になりました。

平成の約30年間、会員の皆様はどのような思い出があるでしょうか。

また、新たに令和がスタートして、どのような夢や期待をお持ちでしょうか。

2019年度（令和元年度）は、日本語教室を開催している松戸市文化ホール内の国際友好ルームを移転・拡張する予定です。拡張後は、より多くの在住外国人の方々が日本語の勉強ができるようになりますので、完成が待たれるところです。

また、2019年度は松戸市国際交流協会設立30周年を迎えます。その意味でMIEAは平成とともに歩んできたと言えます。これも会員の皆様に支えられたおかげであり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

ご案内のとおり、2020年は東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、松戸市では、ドミニカ共和国とルーマニアのホストタウンとして、事前キャンプの実施のほか、さまざまな交流のための準備を進めています。

さらに、2021年5月には、オーストラリアのホワイトホース市と姉妹都市提携50周年（1971年の姉妹都市提携当時はボックス・ヒル市）を迎え、ホワイトホース市長をはじめ、市民訪問団の皆様が松戸市に来られます。松戸市国際交流協会としても、皆様の心から歓迎したいと思っています。

今後、これら記念の年を迎えるにあたり、青少年交流をはじめとして、さらなる国際交流の充実、海外の方々ととの交流の幅を拡大できればと考えております。会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

会員の状況

H31.4.1 現在

種 別	日本人	外国人	法 人	団 体	学 生	家 族	計
会 員 数	279人	724人／54国・地域	34人	29人	36人	21人	1,123人

ホストファミリー登録者	通訳・翻訳登録者／登録言語	日本語ボランティア登録者
12人	45人／9言語	71人

（公財）松戸市国際交流協会（MIEA）では、随時、会員を募集しています。

☆いろいろな国の文化を知りたい。

☆いろいろな国の人と交流したい。

☆いろいろな国の人にかかわるボランティアをしてみたい。

このような方は、ぜひMIEAにご入会ください。松戸で国際交流を楽しみましょう！



ツイッターでMIEA最新情報発信中
フォローしてね！



賛助会費（年度ごと）

・日本人会 員	3,000 円
・外国人会 員	1,000 円
・学 生 会 員	1,000 円
・家 族 会 員	5,000 円
・団 体 会 員	5,000 円
・法 人 会 員	10,000 円

【お問い合わせ】

〒271-0073 松戸市小根本7-8

京葉ガスF松戸第2ビル5階

（公財）松戸市国際交流協会

TEL:047-366-7310 FAX:047-308-6789

Email: office@miea.or.jp

URL: <https://www.miea.or.jp>

令和元年度収支予算書（増減計算方式 要約）

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの収支予算をお知らせします。事業内容の充実に努め、市民の皆様中心の国際交流活動を推進してまいります。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

令和元年度公益財団法人松戸市国際交流協会収支予算書（増減計算方式 要約）

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

（単位：円）

科 目	令和元年度予算額	平成 30 年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	2,212,000	2,212,000	0
②受取会費	1,680,000	1,630,000	50,000
③事業収益	3,074,000	2,953,000	121,000
④受取補助金等	52,358,000	51,511,000	847,000
⑤寄付金等収入	5,000	5,000	0
⑥雑収益	11,000	11,000	0
⑦特定資産取崩収入	2,100,000	0	2,100,000
経常収益計	61,440,000	58,322,000	3,118,000
(2) 経常費用			
①事業費	38,554,000	38,555,000	△ 1,000
②管理費	24,486,000	23,176,000	1,310,000
経常費用計	63,040,000	61,731,000	1,309,000
当期経常増減額	△ 1,600,000	△ 3,409,000	1,809,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,600,000	△ 3,409,000	1,809,000
一般正味財産期首残高	3,600,000	7,009,000	△ 3,409,000
一般正味財産期末残高	2,000,000	3,600,000	△ 1,600,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	300,000,000	300,000,000	0
指定正味財産期末残高	300,000,000	300,000,000	0
III 正味財産期末残高	302,000,000	303,600,000	△ 1,600,000

役員・事務局を紹介します

協会の役員とスタッフを紹介します。令和元年度の役員数は、理事7名、評議員9名、監事2名です。

名誉顧問	飯沼 誠
理 事 長	伊藤 誠
副理事長	木川 総一郎
常務理事	千石 秀幸
理 事	羽毛田 信吾
	大橋 誠一
	大川 高明
	渋谷 和夫

評 議 員	藤塚 光慶
	須田 昌彦
	山口 桂明
	日向野 富士子
	藤田 耕平
	山田 和利
	八島 未和
	浅田 勉
	白井 宏之

監 事	富田 将之
	加藤 肇
事 務 局	
事務局長	嶋野 嘉之
事務局員	鈴木 達朗
	片山 麻里
	郭 秋霞
	雷 耀琴
	小林 克巳

MIEA事業紹介

2019.4.1~2020.3.31

OUR EVENTS

2019年度の主な事業について紹介します。※予定は変更する場合があります。
 詳細は、後日「みいあすてーしょん」等にてお知らせいたします。

第24回松戸市国際文化祭

Matsudo International Cultural Festival

日時：10月19日(土)

午前10時~午後3時30分

会場：松戸市民会館



国際文化祭 (2018.11 実施)

※今年は、会場が変わります。

第30回国際交流パーティー

International Exchange Party

日時：12月15日(日) 午後1時~4時

会場：森のホール 21・4階レセプションホール

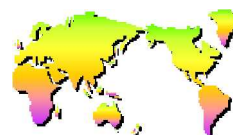


国際交流パーティー (2018.12 実施)

※今年は、会場が変わります。

み い あ せ かい

MIEA世界めぐり MIEA World Tours



★フランス語による文化体験 (シャンソン)

Introduction of Chanson in French



日時：5月30日、6月6日、13日
 の毎木曜日

会場：松戸市民会館 101 号室

★世界の料理体験 (セネガル料理を食べに行こう)

Introduction of Senegalese Food
 ~アフリカ・セネガル料理を食べながらセネガルの暮らしの話を聞こう~

日時：7月6日(土)

午前11時~午後1時

集合：松戸駅 午前9時30分

会場：Thiès: Café

(江戸川区)



★英語による文化紹介(アメリカの大学って何だろう?)

The American University and its Influence

日時：8月5日(月)

午後2時~3時30分

会場：女性センター

ゆうまつど4階ホール



★世界の文化紹介 (詳細未定)

Introduction of World Culture
 ~世界の各国の食事・踊りなどの紹介~

期日：2020年3月15日(日)

会場：森のホール 21

※一般社団法人松戸市観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団との共催事業です。

★世界の文化紹介 (フランス食文化セミナー)

Introduction of French Food Culture
 ~フランス・ガストロノミーの歴史と魅力~

日時：7月23日(火)

午後2時30分~4時

会場：女性センター

ゆうまつど4階ホール



★日本の文化紹介

Introduction of Japanese Culture

詳細未定



スピーチコンテスト *Speech Contest*

★第38回松戸市高校生英語スピーチコンテスト
English Speech Contest for High School Students
 日時：8月17日（土）午後1時～
 会場：市民劇場

★第28回外国人日本語スピーチコンテスト
Japanese Speech Contest
 日時：2020年2月15日（土）午後1時～
 会場：市民劇場



日本語スピーチコンテスト
 (2019.2 実施)

こがくこうざ 語学講座 *Language Courses* 会場：国際友好ルーム他

★はじめてのスペイン語講座（全8回）
Spanish Course for Beginners
 日時：5月12日～7月7日の毎週日曜日
 午後3時30分～5時30分

★初級英会話講座
English Conversation for Beginners
 期日：8月上旬～9月中旬を予定

★英語講座 中級編 “English Course for Intermediate”
 日時：11月～12月頃 毎週土曜日（予定）

★英語講座 初級編 *English Course for Beginners*
 日時：未定



にほん こがくしゅうし えん 日本語学習支援

Japanese Classes for Beginners

★初級日本語教室（3学期制）

1学期【5月7日～7月14日】
 2学期【9月10日～12月14日】・予定
 3学期【1月7日～3月17日】・予定
 昼の部：日曜日（2・3学期は土曜日）
 火曜日・水曜日・木曜日・金曜日
 夜の部：火曜日
 会 場：国際友好ルーム（昼の部）
 ※2・3学期は、一部会場が変わります。
 明市民センター（夜の部）

★日本語教育講演会 年2回
 実施予定時期：1回目 9月ごろ
 2回目 2月ごろ

こくさいぶんか たいし まつど国際文化大使 *Matsudo International Cultural Ambassadors*

※国際理解のための講座や交流イベントなどを開催する団体やサークルに大使を派遣します。（第21期：22カ国・地域/28名）

★第22期まつど国際文化大使委嘱式&懇親会
*The 22nd Matsudo International Cultural Ambassadors
 Commissioning Ceremony & Tea Party*
 日時：9月8日（日）午後1時30分
 会場：市民会館301会議室



まつど国際文化大使委嘱式&懇親会（2018.9 実施）

せいしょうねんしまい と し はけん 青少年姉妹都市派遣（P.8に派遣報告）

Sister City Youth Delegation to Australia

★応募説明会
 日時：8月17日（土）午後5時～
 会場：市民劇場

★公募審査 9月～10月（予定）

★派遣期間 3月中旬の8日間
 派遣先：オーストラリア・ビクトリア州・ホワイトホース市

た その他 *Others*

★ワン・デイ・トリップ *One-Day Trip*
 実施日：11月28日（木）
 行き先：未定

★ホームスティ、ホームビジット
 ★姉妹都市交流
 ★海外からの受け入れ
 ★国際交流団体支援



会員の声



かいいん みなさま だいひょう だんたいかいいん こじんかいいん
会員の皆様を代表して、団体会員・個人会員・まつど
こくさいぶんかたいし みなさま げんこう よ
国際文化大使の皆様へ原稿をお寄せいただきました。

■MIEA家族会員として

わたなべ よういちろう のりこ
渡邊 洋一郎・則子

わたしどもがMIEAの存在を知ったのは、
2011年の春に何かの用事で松戸市役所へ
行った時のことでした。国際交流に関わる団体

が、国でも県でもなく市のレベルで存在することに新鮮な驚きと感動を覚えました。



そこで、微力ながら活動を支援する気持ちからMIEAの賛助会員となりましたが、その際、夫は退職前に国際関係の仕事に携わることが多かったこと、妻は姉がスイス人と結婚しており外国人との関わりがあることから、「家族会員」となることにしました。

会員になって初めて、MIEAが様々な活動を行っていることを知りました。夫は、そのうちの一つ、外国人への日本語習得支援の活動に興味を抱きました。翌2012年に日本語ボランティア会主催による養成講座の受講を経て、2013年からは日本語教室のボランティアを始めました。

また、松戸市と豪州・ホワイトホース市との姉妹



都市交流のことも知り、2016年には夫婦で提携45周年記念市民訪問団の一員として参加しました。

そのほか、家族会員のメリットを生かして、ワ
ンデイトリップや国際交流パーティーなどに
は可能な限り夫婦で参加しています。

■MIEAの活動で得たこと

シュレスタ カルナ
Shrestha Karuna

松戸市国際交流協会との
出会いは2000年からです。

MIEAの日本語教室のおかげで日本語を上手に話すことができるようになり、漢字も読めるようになってきました。さらに様々な国の人と出会い、たくさんの友達ができ寂しさがなくなりました。

日本語教室の先生方も優しく、家庭のわからないことも教えてくれました。

MIEAのまつど国際文化大使になって色々な活動をしました。例えば松戸市の小中高校でネパール文化、歴史、習慣、食べ物、観光スポットなどを紹介しました。

これからもMIEAの活動を続けて、色々な人に自国の文化などを伝えられるように頑張りたいです。

最後に、皆さんもぜひ一度MIEAに足を運んでみてください。



2018年まつど国際文化大使委嘱式



会員の声



かいいん みなさま だいひょう だんたいかいいん こじんかいいん
会員の皆様を代表して、団体会員・個人会員・まつど
こくさいぶんかたいし みなさま げんこう よ
国際文化大使の皆様へ原稿をお寄せいただきました。

■MIEA家族会員として

わたなべ よういちろう のりこ
渡邊 洋一郎・則子

わたしどもがMIEAの存在を知ったのは、
2011年の春に何かの用事で松戸市役所へ
行った時のことでした。国際交流に関わる団体

が、国でも県でもなく市のレベルで存在することに新鮮な驚きと感動を覚えました。



そこで、微力ながら活動を支援する気持ちからMIEAの賛助会員となりましたが、その際、夫は退職前に国際関係の仕事に携わることが多かったこと、妻は姉がスイス人と結婚しており外国人との関わりがあることから、「家族会員」となることにしました。

会員になって初めて、MIEAが様々な活動を行っていることを知りました。夫は、そのうちの一つ、外国人への日本語習得支援の活動に興味を抱きました。翌2012年に日本語ボランティア会主催による養成講座の受講を経て、2013年からは日本語教室のボランティアを始めました。

また、松戸市と豪州・ホワイトホース市との姉妹



都市交流のことも知り、2016年には夫婦で提携45周年記念市民訪問団の一員として参加しました。

そのほか、家族会員のメリットを生かして、ワ
ンデイトリップや国際交流パーティーなどに
は可能な限り夫婦で参加しています。

■MIEAの活動で得たこと

シュレスタ カルナ
Shrestha Karuna

まつどしこくさいこうりゅうきょうかい
松戸市国際交流協会との
出会いは2000年からです。

MIEAの日本語教室のおかげで日本語を上手に話すことができるようになり、漢字も読めるようになってきました。さらに様々な国の人と出会い、たくさんの友達ができ寂しさがなくなりました。

日本語教室の先生方も優しく、家庭のわからないことも教えてくれました。

MIEAのまつど国際文化大使になって色々な活動をしました。例えば松戸市の小中高校でネパール文化、歴史、習慣、食べ物、観光スポットなどを紹介しました。

これからもMIEAの活動を続けて、色々な人に自国の文化などを伝えられるように頑張りたいです。

最後に、皆さんもぜひ一度MIEAに足を運んでみてください。



2018年まつど国際文化大使委嘱式

■「草の根活動」を通して

すいきょうしやどうかい
翠京書道会
ひづくり なおみ
檜作 直美

わたしは、2002年より書道の「草の根活動」として文化祭に参加させていただいております。松戸市国際交流協会のスタッフの皆様には、毎年文化祭において出店をさせていただき、大変お世話になっております。

外国の人、また書道に興味がある方々に、手作りカレンダーを通して書道の楽しさや墨の香り、無心の時間を体験していただいています。

この活動をさせていただく中で、書道史や日本の歴史、文化を学びたいと考えようになりました。3年前より大学の通信教育において書道史、日本文学そして教職課程を学び、日本の文化である書道を国際文化として世界に発信していくことを改めて考えるとともに、国際交流は私の原点であることを再確認するよい機会となりました。今年度からは語学もブ



2018年11月松戸市国際文化祭

ラッシュアップしながら、日本文化書道の橋渡しとなるよう頑張りたいと思います。

■Embracing Diversity(多様性を抱く)

ジョシュア フィリップ ロメロ
Joshua Philip Romero

来日してから7年経ちましたが、未だにその旅の始まりをはっきり覚えております。その時を思い出せば、あの頃の私は片言の日本語しか話

せませんでした。「こんにちは。私の名前はジョシュアです。フィリピンから来ました。」これは、MIEAの日本語教室で初めて習った言葉です。それから、色々なことがありまし



た。日本の高校に通って、そして大学に入ってから、異文化理解の大切さを学びました。私は日本が好きなのは、世界中から来ている様々な背景を持つ人々に出会えるからです。彼らとの出会いを通して異文化と多様性を尊重することを学ぶことで、私の人生は豊かになったと思います。そしてその経験をできるだけ他の人にも共有したいと思い、ここ最近MIEA世界めぐりのようなプロジェクトに取り組んで異文化的認識を推進しています。現在大学4年生で就職活動に励んでいますが、これからも異文化理解を武器にしてグローバル化が進んでいる社会に貢献したいと考えています。

《原文》

It has been 7 years since I first came to Japan, but I still clearly remember the very beginning of my journey. I recall my early days as a foreigner who could hardly speak Japanese back then. "Konnichiwa. Watashi no namae wa Joshua desu. Firipin kara kimashita." Those were the first words I learned when I started taking Japanese classes at MIEA. Since then a lot has happened. After attending a Japanese high school and entering university, I learned the importance of cross-cultural understanding. One thing that I really love about Japan is that I get to meet a lot of people with different backgrounds from all over the world. My encounter with them has enriched my life by teaching me how to embrace cultural differences and see the beauty in diversity, a lesson I would like to share with others. That is why in recent years, I have engaged in projects such as MIEA World Tour and used it as a platform to promote cross-cultural awareness. Currently, I am in my senior year as a university student and I hope to contribute to our globalized, inter-connected society even after graduation.



2018年8月フィリピン講座



■「草の根活動」を通して

すいきょうしやどうかい
翠京書道会
ひづくり なおみ
檜作 直美

わたしは、2002年より書道の「草の根活動」
として文化祭に参加させていただいております。

松戸市国際交流協会のスタッフの皆様には、
毎年文化祭におい
て出店をさせてい
ただき、大変お
世話になっており
ます。

外国の人、また
書道に興味がある
方々に、手作りカレ
ンダーを通して

書道の楽しさや墨の香り、無心の時間を体験して
いただいています。

この活動をさせていただく中で、書道史や
日本の歴史、文化を学びたいと考えるよう
になりました。3年前より大学の通信教育にお
いて書道史、日本文学そして教職課程を学び、
日本の文化である書道を国際文化として世界
に発信していくことを改めて考えるととも
に、国際交流は私の原点であることを再確認す
るよい機会となりました。今年度からは語学もブ



2018年11月松戸市国際文化祭

ラッシュアップし
ながら、日本文化書
道の橋渡しとなれ
るよう頑張っ
て参
りたいと思います。

■Embracing Diversity(多様性を抱く)

ジョシュア フィリップ ロメロ
Joshua Philip Romero

来日してから7年経ちましたが、未だにその
旅の始まりをはっきり覚えて
います。その時を
思い出せば、あの頃の私は片言の日本語しか話

せませんでした。「こんに
ちは。私の名前はジ
ョシュアです。フィリ
ピンから来ました。」これ
は、MIEAの日本語
教室で初めて習った
言葉です。それから、
色々なことがありまし



た。日本の高校に通って、そして大学に入っ
てから、異文化理解の大切さを学びました。私は
日本が好きなのは、世界中から来ている様々な
背景を持つ人々に出会えるからです。彼らとの
出会いを通して異文化と多様性を尊重するこ
とを学ぶことで、私の人生は豊かになったと
思います。そしてその経験をできるだけ他の人
にも共有したいと思い、ここ最近MIEA世界め
ぐりのようなプロジェクトに取り組んで異文化的
認識を推進しています。現在大学4年生で就
職活動に励んでいますが、これからも異文化理解を
武器にしてグローバル化が進んでいる社会に貢献
したいと考えています。

《原文》

It has been 7 years since I first came to Japan, but I still clearly remember the very beginning of my journey. I recall my early days as a foreigner who could hardly speak Japanese back then. "Konnichiwa. Watashi no namae wa Joshua desu. Firipin kara kimashita." Those were the first words I learned when I started taking Japanese classes at MIEA. Since then a lot has happened. After attending a Japanese high school and entering university, I learned the importance of cross-cultural understanding. One thing that I really love about Japan is that I get to meet a lot of people with different backgrounds from all over the world. My encounter with them has enriched my life by teaching me how to embrace cultural differences and see the beauty in diversity, a lesson I would like to share with others. That is why in recent years, I have engaged in projects such as MIEA World Tour and used it as a platform to promote cross-cultural awareness. Currently, I am in my senior year as a university student and I hope to contribute to our globalized, inter-connected society even after graduation.



2018年8月フィリピン講座



平成30年度 青少年姉妹都市派遣生徒報告

まつどしせいしやうねんしまいとしはけんせいと 松戸市青少年姉妹都市派遣生徒10名が、平成31年3月13日～3月20日(8日間)オーストラリア・ホワイトホース市にあるクーンン校を訪れ、お互いの交流を深めました。

■川上 響賀

今回の私の派遣事業に行くにあたっての目標は「異文化理解」でした。結論から言うと、私はこの目標を達成できたと思います。

一つ例をあげたいと思います。それは電車に関するマナーについてです。日本では飲食や会話は控えるということがマナーとされていますが、オーストラリアの電車にはルールとして電車で看板が掲示してありました。これは日本ではあまり見られない文化なので驚きました。

近年、日本でもグローバル化が進んでいるので、このようなことを参考にしてより良い国に発展させればよいのではないかと考えられたいい経験になりました。

■酒井 悠行

私は今回の派遣で、とてもよい異文化交流を経験しました。ホストファミリーは心の温かい親切な人々で、マオリ族の出身であったことから、マオリ族独自の文化も経験することも出来ました。私も日本の文化を伝えようと意気込みましたが、自分の伝えたいことを十分に言葉にできず、もどかしく感じました。もっと知りたい、伝えたいと思いました。これからも、語学の勉強を頑張りと、文化交流を深めていきたいと思っています。

■山本 麻衣

初めて訪れるメルボルンの街、新しく出会う人々に期待でいっぱいでした。メルボルンはとても心地良い気候で、穏やかな人が多く見受けられました。世界の住みやすいランキング第1位というのがよくわかりました。街並みもとても綺麗で印象深いです。訪れたクーンン高校の生徒も、快く迎え入れてくれてすぐに打ち解けられました。また、準備の段階で素早い行動ができたので、プレゼンも成功したのだと思います。最高のメンバーと最高の場所へ行けたことにとても感謝しています。高校生最後の本当に良い経験となりました。

■竹内 萌

今回の姉妹都市派遣を通じて、自ら英語を話すことの大切さを再確認することができました。日本に住んでいれば英語を話さなくても生きていけると思うこともありましたが、世界を見ることで、様々な人がいて様々な文化があることに気づかされました。今まで何となく学んでいた英語も、自分の文化を伝えて相手の文化も知り、豊かな人生を送るために学びたいと思うようになりました。これから、今回得た課題と向き合いながら英語を学び続けていきたいです。

■梨本 なずな

ちょうど1年前にアメリカへ短期留学で行ったので、今回のオーストラリア研修を通して精神、語学の面で自分の成長を大きく感じる事ができました。ホームステイ先がマレーシア出身の方だったのでマレーシア語を少し教えてもらったり、いろんな国の料理を食べさせてもらったり、異文化交流を多くできました。現地ですぐに友達とも頻りに連絡をとって、とても充実したオーストラリア研修でした。

■浦谷 彩歌

私は、オーストラリアに行って、クーンン校に通って驚いたことが一つあります。それは日本に興味を持ってきている人がとても多いということです。学校でもホームステイ先でも日本語についてや日本の文化や政治に

ついてなど、たくさん質問されました。クーンン校では、私達への質問も前もってリストにまとめていたり、質問に答えている間、携帯で録音したりと日本について知りたいという熱い思いがとても伝わってきました。私達に英語やオーストラリアの文化を教えてくれるだけでなく、日本について知ろうとしてくれたことがとても嬉しかったです。

■中野 美涼

私は今回の姉妹都市派遣を通して、改めてコミュニケーションの楽しさ、大切さを実感しました。初めてのホームステイや自分の英会話能力には不安もありましたが、今では不安な気持ちはありません。それくらい、積極的に会話が出来ると思います。ホストファミリーやクーンン校のみんなは、日本から持ってきたお土産をはじめとして、日本に関する色々な話に興味を持ってくれました。近いうちに完璧な英語を話せるように、これからの日常生活でも、片言の英語を駆使して、積極的に外国人と会話をしようと思います。

■並木 糸葉

8日間という短い期間でしたが、「文化の違い」という扁平な言葉で表すことのできないオーストラリアと日本のそれぞれの特徴を大いに感じました。また、同世代の外国人の方と話すことができる貴重な機会を生かし、積極的にコミュニケーションをろうと尽力できました。この派遣を通して、国際関係について興味を持ちました。今まで知らなかった分野について知り、自分の将来の可能性を広げる良い契機となりました。

■蘭本 純葉

私は今回の派遣をととても有意義に過ごすことができ、貴重な経験を得る機会となりました。

ホストファミリーやクーンン校の生徒との英語によるコミュニケーション、メルボルンの観光名所巡り。また、自身の課題の一つであるオーストラリアの芸術文化を肌で感じる事ができたのも、素晴らしい経験になりました。

この姉妹都市との貴重な交流を経て、より一層勉強に励みたいと思える、そんな留学となりました。

■原 リドワン

初めての海外、初めてのホームステイと初めての8日間は、今までの人生の中で一番といっても過言ではないくらい有意義なものになりました。英語力の向上はもちろんのこと、多種多様な文化・民族が共存するオーストラリアで生活したことで、「お互いの文化・習慣を理解・尊重する重要性」を学びました。来年には東京オリンピック・パラリンピックが開かれ、更に多くの外国人が訪れる日本でも、このような価値観が広まっていくべきだと思います。派遣で学んだことを今後生かしていくとともに、周囲の人々に伝えていきたいです。

